民間施設緑化推進要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、宮崎市緑のまちづくり条例（平成14年条例第45号。以下「条例」という。）第26条に基づく民間施設緑化に関して、宮崎市緑のまちづくり条例施行規則（平成15年規則第1号。以下「施行規則」という。）第10条に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 高木 成木に達したときの樹高が4 m以上かつ樹冠面積が概ね10 m²以上になるよう配置された樹木をいう。
- (2) 中木 成木に達したときの樹高が2 m以上かつ樹冠面積が概ね2.5 m²以上になるよう配置された樹木をいう。
- (3) 生垣 成木に達したときの樹高が1.0 m以上かつ前面が概ね連続して緑化されるよう配置された樹木で、前面にブロック積み等の構造物（ただし、樹木を固定するための簡易な土留ブロック積み等は除く。）がないもの。
- (4) 平面緑化 芝、つる性植物等を用いて、概ね水平に連続して緑化されるよう配置されたものをいう。
- (5) 低木 高木・中木以外の樹木で、成木に達したときの樹冠面積が概ね1 m²以上になるよう配置された樹木をいう。
- (6) 接道部 民間施設の敷地のうち公共的道路に接する部分をいう。

(民間施設緑化基準)

第3条 施行規則第10条第1項に規定する行為については、敷地内は可能な限り緑化を行うとともに、緑化の際には別表の民間施設緑化基準（以下「緑化基準」という。）で定めるところにより行うものとする。

(緑化樹種の規格)

第4条 緑化樹種の規格は、原則として高木とし、その植え付けは最低でも2 m以上の苗木をもって実施するものとする。なお、次に掲げる緑化も可能とするが、ポット、鉢物等の可動式植栽は除く。

- (1) 中木による緑化（最低でも1 m以上の苗木で実施）
- (2) 生垣による緑化（延長1 m当たり樹木が概ね2～3本以上で、最低でも0.8 m程度以上の苗木で実施）

(3) 低木による緑化

(4) 芝、つる性植物、草花（宿根草等）等による緑化

(植栽の場所)

第5条 植栽の場所は接道部及び公共的道路から見える位置を優先するものとする。

(植栽の実施時期)

第6条 植栽の実施時期は、原則として施行規則第10条第1項に規定する行為が終了する時まで、または終了直後の植栽適期までには植栽を終了するものとする。

(緑化計画書の届出)

第7条 1回の行為面積が施行規則第10条第1項に規定する面積以下でも、何回にもわたって当該行為を行い、その最終的な行為面積が施行規則第10条第1項に規定する行為になるときは、緑化計画書を提出するものとする。

(緑化計画書の届出通知)

第8条 市長は、緑化計画書の届出があった時は、届出済通知書（様式第1号）をもって通知するものとする。

(緑化計画書の変更)

第9条 緑化計画を変更しようとする者は、変更緑化計画書を提出するものとする。

(樹木等の良好な保持)

第10条 緑化計画書を提出した者は、当該行為における樹木等を良好な状態に保持するため、適切な維持管理を行うものとする。

(補 則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年9月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

この要綱は、令和2年11月5日から施行する。